

愛の日

年に一度の「幼児音楽フェスティバル新為県大会」が、今年も36回目を迎え、11月28日、29日の二日間、巨匠の開催されます。

松の実は28日の第一節に出演します。

新為デルサのステージを心待ちにしている心とひとしじいお稽古を重ねて来たのもも組、この組は、運動会まで「暗見」いただいた以上に素晴らしい演奏・演技を披露してくれるに違いないと楽しみにして見ました。

「お稽古」もも組、この組の保護者様からは「熱気や怪我で又場をせなさい」という熱い思いの応援をいただいたりも参りました。

コスホのお稽古をされていた時には、この階のギョレリで感動の涙を拭くお姿も拝見させていただきました。

「お稽古」たんぽぽ組、うめ組の子どもたちからは「憧れる」という燃えるような応援が続いていました。当日は遠方からのおじいちゃん、おばあちゃん、来場申込みもいただいた

です。

応援と泣くのは、表情、こぼれ、振舞い心のすべてが愛のシャワーになるようにあることだと思っております。いつも沢山の応援をいただき、松の実も幸せにっつまけてまいりました。本当にありがとうございます。

12月18日19日は既に「年末の通り」第37回松の実生活発表会」であり、

毎年恒例のこの行事は、4月初めからその時々の成長に合わせて楽しんで来た歌や踊り、演奏などの表現活動まで一覽見ただいて、親子で成長を喜びあえるようにと願って続けました。

どうぞ、発表会当日も子どもたちが、父と勇気と自信を胸に生きた力の糧となるように、温かい愛のシャワーを注ぎかけてください。

園行事はいつも「愛の日」なのです。

12月にはもうひとつ、とっておきの「愛の日」があります。

クリスマスは今年も日本の年中行事

として定着し、子どもたちにとっては

サンタクロースがプレゼントを届けくれる格別に嬉しい日になっていきます。愛を形にして贈る気持ちと受け取る幸せ感をつなぐられるサンタクロースの存在を、いつまでも信じられる子どもであって欲しいと願っています。

松の実には12月25日がクリスマス会です。

「ここからの7行はナイショのオナシ」・クリスマスプレゼントは毎年発表会からいただいたものです。ありがとうございます。・大人も来られる赤い服を着た優しい笑顔のサンタさん（おじいちゃん）は神聖な愛を教えます。・その内の4人は園児のおじいちゃんなので、もうひとりはお父さんとお母さんです。・「おじいちゃん」の相対買いです。

クリスマスが過ぎると街は一転、お正月の装いになります。

来る年に向けて、「ふれあい広場」で作るカレンダーの一日いちいちを「愛の日」にしていただければ幸いです。

園長 福田孝子